

トップメッセージ	J X T G エネルギーについて	マネジメント体制	CSR マネジメント	社会性報告	<b>環境報告</b>
環境マネジメント	環境負荷の全体像	<b>地球温暖化防止対策</b>	生物多様性保全	環境負荷低減活動	環境に配慮した商品・サービス提供の開発
					製油所・製造所などにおける環境への取り組み

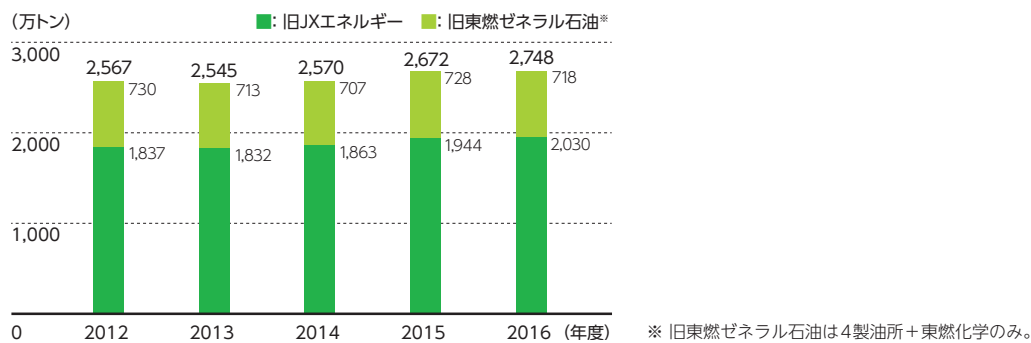
# 地球温暖化防止対策

## 基本的考え方

J X T G エネルギーグループは、サプライチェーン全体のエネルギー消費が地球環境に与える影響を考慮しています。総合エネルギー企業として、事業活動の主体である精製・生産段階におけるエネルギー効率の向上、製品輸送時の燃料消費量の削減に加えて、環境配慮型潤滑油などの製品提供を通じ、温室効果ガスの削減を図り、地球温暖化防止に努めています。

## CO<sub>2</sub>排出量削減への取り組み

### ● CO<sub>2</sub>排出量の推移



### ● 精製段階における取り組み

J X T G エネルギーグループのCO<sub>2</sub>排出量の約8割は精製段階で生じます。このため精製段階でのエネルギー消費効率の向上を最重要課題ととらえ、最先端の技術の開発・導入や生産工程の改善、放熱ロスの削減等、さまざまな省エネ活動に取り組んでいます。

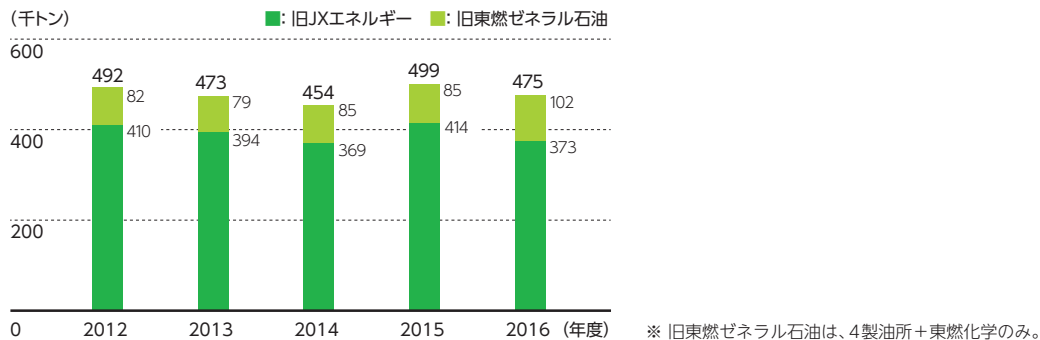
トップメッセージ	J X T G エネルギーについて	マネジメント体制	CSR マネジメント	社会性報告	環境報告
環境マネジメント	環境負荷の全体像	● 地球温暖化防止対策	生物多様性保全	環境負荷低減活動	環境に配慮した商品・サービス提供の開発
					製油所・製造所などにおける環境への取り組み

● 物流段階における取り組み

J X T G エネルギーグループは、物流段階において、省エネ法に基づき、輸送ルート最適化、油槽所の集約、タンクローリーやタンカーの大型化等の物流効率化に加えて、アイドリング・ストップの徹底など、燃料消費量の削減に努めています。

2016年度、国内輸送における燃料消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量は475千トンで、輸送量の変化に伴い前年比で減少しました。

● 国内輸送におけるCO<sub>2</sub>排出量



● 日本CCS調査株式会社への出資について

CCS\*とは、油田・ガス田、工場、火力発電所等から排出される大量のCO<sub>2</sub>を分離・回収、地中約1,000mより深くに圧入し、貯留する技術のことです。

大量のCO<sub>2</sub>を大気中に排出される前に減らすことができるため、実用性や即効性の面で優れていますが、CO<sub>2</sub>の低コスト分離・回収技術の開発や安全にかつ安定的に貯留できる地層の評価等に関する調査が必要であり、世界各国で実証事業が進められています。

わが国では、2008年5月、経済産業省主導のもと、日本CCS調査株式会社が設立されました。J X T G エネルギーは、国内におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けたCCS技術の実用化を支援するため、日本CCS調査株式会社に設立時発起人会社として出資し、事業活動に参画しています。出資企業は現在35社で、電力、石油開発などの関連会社が出資しています。

2012年度に苫小牧において開始した実証試験事業では、CO<sub>2</sub>分離・回収設備の建設工事やCO<sub>2</sub>を圧入する坑井の掘削工事などを実施し、苫小牧港の港湾区域内の海底下約1,000mと約3,000mの2層の貯留層で圧入準備作業が完了しました。

2016年4月からは、このうち1層へCO<sub>2</sub>圧入を開始し、2017年8月までの累積圧入量は69,070トンに達しています。

\* Carbon dioxide Capture and Storage (二酸化炭素回収・貯留)。